自己評価①　≪Ｈ２９年度　評価・反省・課題≫

評価・反省

・園内研修（アレルギーについて／うつぶせ寝の危険について／嘔吐処理の仕方／発達障害（ＡＤＨＤ）について／職員の言葉遣いについて等）を実施してきた。しかし、まだまだ不十分なので今後も継続が必要。

・行事に向けての活動が優先されてしまう場面があった。日々の活動に見通しと計画性が足りなかった。

・一人ひとりを尊重した保育を意識してきた。しかし、保育士の言葉遣いに関しては課題が残る。一人ひとりの意識がまだ足りないのかもしれない。

・毎日の昼礼で各クラスの状況、お子様の様子を把握する事ができた。全員で共有し、対応や意識を統一していった。

・保育参加、給食試食会、お祭りごっこ等、新しい行事を企画し取り入れ、みんなで楽しめる工夫をしてきた。ただし、子育てサロンに関しては企画だけで実践はできなかった。

・狭いことで、遊びや活動が制限されてしまうこともあるが、アイデアを出し合い工夫することでコーナー遊びなどもしていった。

・当事者だけで話あうことが多く、皆で共有することが不十分だった。

・職員間の連携不足があった。

・問題や決定を先延ばしにすることが多かった。

課題・今後の取り組み

・退職、産休等で職員数が減ったため今までどおりの動きでは対応が難しかった。４月からは育休明けで復職する職員もいるが勤務形態の変更もあり依然として十分な配置が難しいところもあると思われる。安心、安全を担保できるよう更に気をつけていかなければならない。一人ひとりの意識が必要。

・職員間のコミュニケーション、育成のためにも、話し合いの場面を大切にし、色々な問題を解決していくようにする。（みんなが意見しやすいように）
更に答えやすいアンケートの工夫が必要。回収率があがることで、もっと様々な思いや意見（感想、要望）を明らかにしていく。

・話し合い、意見を出す場を多く持ち、職員間の考えをはっきりとさせていくようにする。園長、主任、副主任が各クラス、職員の状況をしっかり把握することで問題解決につなげていく。また連携が機能する環境を作っていく。

・発達や興味にあった環境構成を更に考えていく。

・『保育過程／指導計画』『職員の資質向上』『地域との連携／子育て支援』の項目が弱かったので改善の努力をしていく。

・新保育指針をよく理解し実践していくための取り組みをしていく。

自己評価② ≪H29 年度 各クラスの抱負と反省≫

ひよこ（0 歳児）

（抱負）・食べる、遊ぶ、眠るを通して、基本的生活習慣を身に付けていく。

（反省）・保護者さまとこまめに話をする事で家庭と保育園で同じように成長を見守ることができた。

・担任に信頼感を持ち甘えたり自分をだしたりすることができていた。

・食事の面では自分で食べようとする姿がみられ、保育士と一緒に食べ喜びを分け合えた。

・全員が戸外で手をつないで歩く経験ができた。

・動きが活発になり走り回る姿が多くなってきた時の保育に工夫が足りなかった。（動くのが当たり前）

ぺんぎん（1 歳児）

（抱負）・いろいろな遊びを通して、沢山のことを経験し、みんなで楽しく過ごす。

（反省）・複数担任ということで様々なアイディアを出しあい計画を立て分担することで遊びの巾を広げることができた。

・お子様達が自分で考えて作っていくような遊びかたが増えてきたように感じた。

・楽しい遊びをたくさんすることができた。あそびを通していろいろな経験、学びをすることができた。

・初めてのことにも興味を持って取り組めていた。

・保育士が引き出しをたくさん持つよう努力していくことが必要。

うさぎ（2 歳児）

（抱負）・一人ひとりの気持ちや育ちを大切にし、自分で出来ることを増やしていく。

（反省）・一人ひとりの気持ちや育ちを大切に保育を行ってきた。一緒に行ったり方法を伝えたりして、自分で出来ることを増やしていくことができ、自立に繋がってきている。

・保育士の余裕のなさや力量不足を感じることがあった。

・保育士間の連携の大切さを感じた。

ぱんだ（3 歳児）

（抱負）・友達や先生と一緒に、のびのびと元気いっぱいに遊ぶ。

・集団生活の中で様々な経験をし、感情表現を豊かにしていく。

（反省）・様々なあそびを通して、のびのびと遊ぶ姿が見られた。

・たくさんの経験をする中で喜怒哀楽の感情表現が豊かになった。

・計画性を持たず、思いつきで活動がしたことがすこしあったのが反省。

こあら（4 歳児）

（抱負）・楽しくすてきなこあら組にしたいというお子様の希望を一緒に叶えられるように、一人ひとりの気持ちに寄り添う保育をしていきたい。

（反省）・生活の中で生じることについてお子様達と話し合いができるようになった。また行事にも意欲的に取り組むことができ、自信を持って参加できていた。できていた。

・行事の練習に時間をとられ遊びの時間を確保できないことがあった。バランスよく活動できるよう考えるべきだった。

・『一人ひとりの気持ちに寄り添う』ということが不十分で担任として力不足だったと感じている。お子様の成長に助けられた部分が非常に大きい。

きりん（5 歳児）

（抱負）・お友達と一緒に身体をたくさん動かして遊び、卒園まで思い出に残るような保育をしていきたい。

（反省）・おにごっこ、鉄棒、跳び箱等体を動かす活動をたくさん取り入れてきた。またたくさんの行事に楽しみながら参加でき多くの思い出を作ることができたと思う。自分の思いを通そうとすることでトラブルになる事が多かった。相手の思いを受け入れるということに力をいれてきた。十分ではないところもあるが、お別れを寂しがったり友達同士絆を深められていたと思う。